

南海トラフ巨大地震発生想定 想定最大クラス 津波

津波ハザードマップは、尼崎市にも大きな影響を及ぼすことが予想される南海トラフ巨大地震が発生した場合に想定される「最大クラスの津波」による浸水の深さを示しています。

※地震の規模や地震による海岸施設の被災状況等によってはこの図に示されていない場所でも浸水する可能性があります。浸水深も深くなる場合もあり注意が必要です。また、津波は第1波だけでなく、何度も繰り返し襲来するので、津波警報・注意報が解除されるまで気を緩めず、避難を続けてください。

このマップは以下の浸水想定区域図を示したものです
南海トラフ巨大地震津波浸水想定図(平成25年12月)
(尼崎市)
[作成主体]兵庫県

発生想定
このマップの浸水想定条件
今後30年以内に
南海トラフ巨大地震
発生確率80%程度
M8~9クラス
浸水が想定されていない場所、
色のついていない場所も
注意が必要です。

尼崎市では災害が発生したときのために、次の避難場所を定めています。

津波等一時避難場所とは津波・高潮・洪水等が発生したとき、津波警報や避難情報が発令されたときから解除されるまでの間、一時的に避難できる場所です。公共施設のほか、民間等の建物所有者にご協力をいただいで指定しています。

指定避難場所とは災害により住まいを失った場合や、災害発生後に災害の危険がなくなるまで中長期に渡って避難生活をする場所です。

福祉避難所とは災害時に支援が必要な要配慮者(災害時要援護者)に配慮した避難場所です。
(災害時に必要に応じて開設する2次の避難所で、基本的には最初から利用することはできません。)

日頃から自分自身の避難しやすい避難場所を確認しておきましょう。



歩行の目安

硬貨を使ってマップ上でおおよその距離と時間をはかってみましょう。

マップ上でおおよその距離・時間をはかる

10円玉1枚で
約400m

23.5mm

10円玉1枚で
約14分

歩行困難者・乳幼児等
毎秒約0.5m

約7分

毎秒約1.0m

※歩行速度は、総務省消防庁「津波避難対策推進マニュアル検討会報告書」を参考に算出しております。

- #### 凡例
- 津波等一時避難場所
 - 指定避難場所
 - 福祉避難所
 - 市役所
 - 地域振興センター
 - 警察署
 - 消防署
 - 救急告示医療機関
 - ヘリ臨着場
 - 水門
 - 水防倉庫
 - ポンプ場等
 - 下水処理場
 - 水位観測所
 - 防災行政無線
 - 地下街等(駐車場、商業施設)
 - 地下道・アンダーパス
 - 標高
- #### 想定される浸水深
- 浸水の深さ
- 5.0m~10.0m未満
 - 3.0m~5.0m未満
 - 1.0m~3.0m未満
 - 0.5m~1.0m未満
 - 0.5m未満
- #### 想定される浸水深
- 浸水の深さ
- 5m~10m
2階建より
上まで浸水
 - 3m~5m
2階軒下浸水
 - 1m~3m
1階軒下浸水
 - 0.5m~1m
床上浸水
 - ~0.5m未満
避難も危険
- 色のついていない場所でも浸水する場合があります。注意して早期の避難を心がけましょう。

注意すべき津波の特徴

津波の伝わる速さと高さ

津波は、水深が深いほど速く伝わり、浅くなるほど波高が高くなります。

引き波がなくても津波は来る

津波は引き波から始まるといわれますことが多いですが、地震の起こり方や震源地付近の地形によっては引き波が起こらない場合もあります。

2波、3波と繰り返す

津波は繰り返してきます。必ずしも第1波が最大であるとは限りません。

津波の高さは想像以上

津波の高さは海岸の地形などに大きく左右されます。遠浅やV字型の湾などは特に高くなる傾向があります。

河川からの遡上(逆流)

津波は河口から侵入し、何kmも上流へ遡上(逆流)することがあります。遡上した津波が、河川の堤防を越え、沿いの地域に大きな被害をもたらすことがあります。

水平避難

JR神戸線より北かつ猪名川、瀬川、武庫川などの河川から離れた場所に避難しましょう。

避難目標ラインは JR神戸線

津波到達までの避難に特に注意が必要な地域

※下記の「命を守る避難行動」を参考に早めに安全な場所へ避難してください。

- 1 津波避難対象地域
- 2 津波避難要注意地域

命を守る避難行動①
海や川からはなれて
JR神戸線より北へ!
水平避難

命を守る避難行動②
津波等一時避難場所など
堅固な建物の3階以上へ!
垂直避難

命を守る避難行動③
鉄筋コンクリート造など
3階以上なら、その場で
屋内安全確保!
在宅避難

尼崎市で想定される南海トラフ巨大地震(マグニチュード9.1)による津波について

【設定条件】高潮時に津波が到達すると、地殻変動、地震による河川・海岸等の構造物の沈下を考慮しています。防波堤等は耐震性を有し、自動化された施設、常時閉鎖の施設以外は開放状態。防潮堤は津波が逆流した場合に破損する条件で設定されています。

最大で
震度6強
の揺れを伴う

最高津波水位
4.0m
海抜0mからの高さ

地震発生から
117分後
に津波(1m)が到達

【発行、問い合わせ】
尼崎市危機管理安全局 危機管理安全部 災害対策課
〒660-8501 兵庫県尼崎市東七松町1丁目23番1号
電話番号: 06-6489-6165 FAX番号: 06-6489-6166